

【悪魔】 現政権の目玉の一つになっている事業仕分けが、また行われたそうですね。どの官庁も戦々恐々としているようですが、国立大学関係の予算はどうなりそうなんですか？

【天使】 どうなりそうか、などと呑気なことを言っている場合ではない。平成21年に行われた事業仕分けにおいて、国立大学の基盤予算である運営費交付金について「見直し」との結論が下されている関係で、次回行われる予定の事業仕分けでは、現実に運営費交付金が縮減されかねない状況にあると言われている。各国立大学では、学長が合同で緊急声明を公表したり、関係者からの意見を広く求めたりするなど、緊急の対応に迫られているのが現状だ。

【悪魔】 まあ、予算が削られてうれしい人は誰もいないでしょうから、国立大学が必死になるのは、当たり前だとは思いますがね。でも、大学の教員は、各省庁で無駄な予算が使われているから削るべきだ、と結構批判していたように思うんですけど、自分の予算のときには話が別になるわけですか？ どうして国立大学の予算

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第45話

事業仕分けと 国立大学予算

は、そんなに大事だと言えるんでしょう？

【天使】 当たり前すぎて説明する気にもならないが、要するに、国立大学は、教育と研究との双方について、わが国の知的水準の基盤を形成してきたものである。かつ、国民が各自の経済的事情に影響されずに高等教育を受けられるべく、授業料等の負担も低くなるよう設定されてきた。このような事情は、国立大学が国の機関から国立大学法人となった後でも基本的に変化しないものであり、国立大学への運営費交付金は、そのような教育と研究とについて高度の水準を保つために、必要不可欠のものということができる。加えて、近年においては、社会全体の景気の落ち込みに伴い、企業等からの研究資金が大幅に減少している状況にあり、科学研究費補助金（科研費）を典型とする競争的資金についても、全体の配分量が著しく減少している。このままでは、わが国の国立大学は、過剰な予算削減により教育の質も研究の質も保てなくなり、世界レベルの競争に完全に立ち遅れてしまうこととなりかねない。各国立大学が強い危機感を有しているのは、決して自分の既得権

益のためではなく、わが国の将来を担う教育と研究の水準を守ろうとしているわけだ。

【悪魔】 なるほど、それで学生や保護者に対して、やれ授業料が上がるかもしれないとか、奨学金が出なくなるかもしれないとか、やたらと不安を煽るような宣伝をしているわけなんです。でも、これまでの国立大学の行ってきた教育と研究の成果が、国立大学が言っているとおりの高い水準を保っているのであれば、大学の予算が無駄だから削ろう、という話は起こるはずがないんじゃないでしょうか？ 例えば、国立大学の教員は、世間様と比べたら結構高い給料をもらっていますけど、その給料に見合うだけの研究成果や教育成果を挙げている人は、実際どれだけいるんでしょう？

【天使】 そういう短絡的な成果主義にこそ、今回を含めた事業仕分けの問題点が潜んでいる。短い期間で劇的な成果が上がり、かつ、それが経済的利益に直結するような研究や教育であれば、国立大学が国家予算を使って行うまでもなく、民間事業者が大量の資金を投入するはず



だ。これに対して、基盤研究と呼ばれる学問の基礎的な部分の研究や、必ずしも経済的利益に直結しない分野の研究や教育については、民間事業者では採算が取れないことを理由に行われたいわけであり、そのような部分の水準を確保することこそが、国立大学の担うべき役割であると言える。このような、より長期的な視点に立った場合、現在行われている事業仕分けは、教育・研究の歴史上大きな汚点を残す恐れが極めて高いものと言わなければならない。

【悪魔】 別に研究や教育から直に利益を上げることが世の中が求めているわけではないでしょう。ただ、本当に質の高い教育や研究をしているのなら、それを普通の人に分かるように、きちんと説明できなければなりませんね。それは、予算の源である税金を納めている人に対して、当然しなければならぬことですよ。まあ、これまでは国立大学だというだけで大事にされてきたのが、急に世間の厳しい風がまともに吹き突けてきたわけですから、右往左往するのも無理はないですけど、努力の方向性を完全に間違えているような気がするんですよねえ。